



物体のおもて、表面を特定し、そこに形象をしるすこと、この絶対的な余剰—あるいは表面（場所）の絶対性。物体に拠ってはいるけれど、これは物体、その連続性からの決定的な離脱であり、死にものぐるいの「飛躍」を意味している。ことわるまでもないことだが、これはまた、あの常套的な対語、平面／立体といった形式概念のことではない。そうした「対象言語」ではなく、いまはその手前もしくは下部に眼をそそいでいる。（『画布/画面/絵画 中西夏之にふれながら』平井亮一）

ここに書かれた「死にものぐるいの「飛躍」」こそが、絵画が物質から離脱する瞬間であり、そのときに「視覚性」ばかりでなく、「触覚性」を総動員することでモダニズムの絵画を再検討し、絵画が本来持っている豊かさを探究していきます。

石村 実 展 — 触覚性絵画 —

2021年3月15日（月） - 3月20日（土）

ギャラリー檜 e・F
Gallery HINOKI

石村 実 展 — 触覚性絵画 —

2021年3月15日(月) - 3月20日(土)

11:30 - 19:00 (最終日 17:00)

ギャラリー檜 **e・F**

Gallery HINOKI

〒104-0031

東京都中央区京橋3-9-2宝国ビル4F

Tel: 03-6228-6558(会場)

Tel: 03-6228-6361(事務所)

Fax: 03-6228-6388

Mail: g-hinoki@axel.ocn.ne.jp

<http://hinoki.main.jp>

銀座線京橋駅1番出口より徒歩3分

浅草線宝町駅A4出口より徒歩1分

